

情報コーナー

大鳴門橋架橋記念館

魅力、うず巻く、橋と渦潮のミュージアム！

当館は、世代を越えて楽しめるミュージアムです。他では見ることのできない、様々な映像を展示しています。

例えば、大鳴門橋の建設開始から終了までの貴重な工事風景、「4K360°シアター awa」で見る、徳島が誇る豊かな自然、阿波おどりに代表される徳島の文化など。

「Play the Eddy!」は、見て、触って、音を出して楽しめる渦潮をモチーフにした、デジタルアート空間です。10分に1回の特別演出が見どころです。

徳島にお立ち寄りの際は、ぜひ当館にお越しください。



4K360° シアター awa

〒 772-0053 鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 65

☎ 088-687-1330 (大鳴門橋架橋記念館)

Jパワー & よんでん Wa ンダーランド

Wa ンダーランドとは？

海と山に抱かれた豊かな自然の中に位置するJパワー & よんでん Wa ンダーランド。その「Wa」には、いくつかのメッセージが込められております。

地域のみなさまと発電所をつなぐ「和」。美しい自然環境との融合を表す「環」。技術や知識が伝わっていくイメージの「輪」。そして新しい発見に驚き感動するときの「わ!」という声。だから施設のいたるところに「Wa」をモチーフにしたアイデアがいっぱいです。

ぜひ気軽に足を伸ばしてみてください。たくさんの楽しい Wa が、みなさまをお待ちしています。



Jパワー & よんでん Wa ンダーランド

〒 779-1620 阿南市福井町舟端 1 番地

☎ 0884-34-3251 (Jパワー & よんでん Wa ンダーランド)

徳島県立近代美術館

特別展 ディーン・ボーエン展

ディーン・ボーエン (1957-) は、現代オーストラリアを代表する作家です。メルボルンを拠点に、版画をはじめ、油彩画、水彩画、彫刻、廃材によるアサンブラージュなど、様々なジャンルで活躍しています。西洋のモダニズムや原始美術などあらゆる芸術を愛し、従来の美術の枠組みを超えてゆくアール・ブリュット (生の芸術) の巨匠ジャン・デュビュッフェからも大きな影響を受けています。

本展では、ボーエンの多彩な創作活動を約 150 点の作品でご紹介します。広大なオーストラリアの大地と自然や都市、そこに生きる人間や動物などの身近なモチーフが、ユーモアと想像力にあふれた親しみやすい姿で表現されています。そこにはハリモグラやコアラなどオーストラリア固有種も登場します。チャーミングで心温まる作品を楽しみながら、私たちの身近な自然や街、そして生き物の命の豊かさを再発見する機会にもしていただけたら幸いです。



手をふる子ども (青の長袖)
Waving Child (Blue Jumper)
2020 年 油彩、板
作家蔵
Collection of the artist

○会 期：9月16日(土)～12月10日(日)

○時 間：9:30～17:00

○会 場：展示室3

○観覧料：一般 900 円 (720 円)

高校・大学生 670 円 (530 円)

小・中学生 450 円 (360 円)

※ () 内は 20 名以上の団体料金

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をご提示いただいた方とその介助者 1 名、未就学児はそれぞれ無料

※ 65 歳以上で年齢を証明できるものをご提示いただいた方は半額

※小・中・高校生は、土・日・祝日は無料

※特別展の観覧券で、所蔵作品展も観覧可

〒 770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎ 088-668-1088 (徳島県立近代美術館)

徳島県博物館協議会ニュース No. 73

令和 5 年 9 月 12 日 発行

編集・発行者

〒 770-8070

徳島市八万町向寺山 徳島県立博物館内

徳島県博物館協議会事務局

TEL 088-668-3636 FAX 088-668-7197

徳島県博物館協議会

9 月 2023

NO. 73

ニュース

徳島県博物館協議会は、徳島県内の博物館施設が相互協力して博物館活動の振興をはかるため、平成 8 年 2 月 27 日に設立されました。現在は 50 館で組織しています。

各加盟館の情報は、WEB 上では「徳島県博物館マップ」からご覧いただけます。

(<https://museum.bunmori.tokushimajp/tokuhakukyo/default.htm>)



活動報告

令和5年度総会・研修会

あすたむらんど徳島で開催

6月16日(金)、あすたむらんど徳島管理棟会議室において、23館から28人が参加し、令和5年度の総会が開催されました。議事として令和4年度の事業報告・決算報告・監査報告、令和5年度の事業計画案・会計予算案、会則の一部改正、「鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム」の後援、「海陽町立博物館 企画展『海部刀の光と影絵Ⅱ』」の後援、新しい博物館マップの作成が上程され、いずれも承認されました。

総会終了後の研修会は、2部構成で実施しました。

研修①は、徳島木のおもちゃ美術館の視察でした。松葉洋統括マネージャーの案内で、徳島県産材をふんだんに使った空間、遊具、おもちゃを実際に体験し、木の魅力、伝統、文化を学びました。

研修②は、徳島県子ども科学館の視察でした。後藤利貴部長の案内で、「宇宙と地球」、「生命と環境」、「科学技術と人間」の各テーマごとに設置された展示を、参加者自らが積極的に体験することができました。

後援事業紹介

鳥居龍蔵記念 徳島歴史文化フォーラム

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館では、平成 28 年度から徳島が生んだ人類学者である鳥居龍蔵の業績を記念し、県内在住の中学生・高校生による地域の歴史・文化に関する自主研究の支援に取り組んでいます。

この事業は、7月のガイダンス講座、11月の現地研修会、2月に行われる発表会の3部から構成されており、去る7月16日(日)に徳島市八万町周辺でガイダンス講座を実施したところです。

当館では、中学生・高校生がそれぞれの研究を発表会につながられるよう、支援を継続していきます。

〒 770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園

☎ 088-668-2544 (徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)

海陽町立博物館

企画展「海部刀の光と影絵 2023」

海陽町立博物館では、2023年7月6日(木)から9月3日(日)まで、企画展「海部刀の光と影絵 2023」を開催しました。「海部刀や博物館をより身近に感じて欲しい」という思いから始まったこの展示は、今年で2回目でした。今回は、約1,000名の方にご観覧いただきました。

海部刀を取り巻く時代や事件を取り上げた「海部刀の光と影絵」は、当館所蔵の海部刀や影絵師川村亘平斎の作品、そして海陽幼稚園・海陽保育所の子どもたちの作品のコラボレーション展示でした。別室に展示した「影絵 de 民話」では、海陽中学校と穴喰中学校の子どもたちが、海陽町に伝わる民話をテーマに影絵人形を作りました。

今年初めての取組として、海部川筋盆踊り振興会にご協力いただき、海陽町に伝わる盆踊りの音頭に合わせ、自分の作った影絵人形と一緒に踊るイベントや、影絵師として日本全国や世界で活躍する川村亘平斎氏の影絵芝居「Coral tree- 空飛ぶウサギと珊瑚の樹 -」を開催しました。

〒 775-0202 海部郡海陽町四方原字杉谷 73

☎ 0884-73-4080 (海陽町立博物館)

情報コーナー

阿波和紙伝統産業会館

「アワガミ国際ミニプリント展 2023」開催決定

2013年に初回を開催いたしました「アワガミ国際ミニプリント展」を、本年も開催する運びとなりました。2年に1度の開催として、本年で6回目を迎えます。

本展覧会は、版表現を行う国内外のアーティストに呼びかけ、ミニプリントの作品を広く公募し、厳選な審査の上で受賞者を決定いたします。プロアマを問わないオープンな公募展として、多数の参加を期待しています。

「和紙を使う」というテーマのもとで本展の開催を通じ、日本の伝統文化に根ざす手漉き和紙のグローバル化を図るとともに、アーティストの発表の機会を設けることにより、さらなる版表現の普及の一助になることを期待しています。会期は10月7日(土)～11月12日(日)です。



阿波和紙伝統産業会館

〒 779-3401 吉野川市山川町川東 141

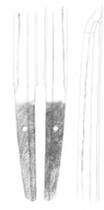
☎ 0883-42-6120 (阿波和紙伝統産業会館)

情報コーナー

海陽町立博物館

企画展 阿波の新々刀-蜂須賀重喜の派遣刀エー

本展では、徳島藩 10 代藩主蜂須賀重喜（在位 1754～1769）が果たした役割と、重喜を取り巻く 4 人の刀工とその作例を中心に紹介します。



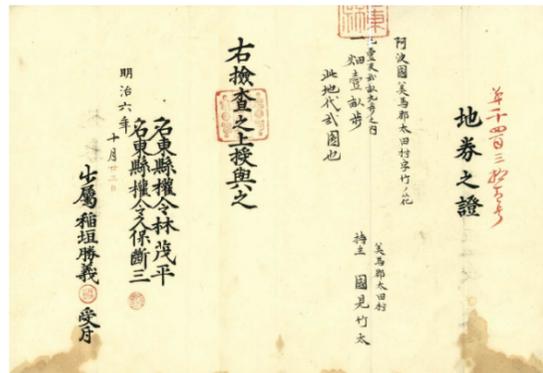
脇指

- 会 期：令和 5 年 10 月 31 日（火）～令和 6 年 1 月 14 日（日）
- 時 間：9：00～17：00（入館は 16：30 まで）
- 会 場：常設展示室 銘（表）阿陽安芸佐之
- 観覧料：大人 300 円（200 円）（裏）於蛭子山麓作之（ ）内は 15 名以上 寛政元巳酉八月日（個人蔵）
- 後 援：NHK 徳島放送局 社団法人徳島新聞社 四国放送株式会社 ケーブルテレビ徳島株式会社 株式会社エフエム徳島
- 関連行事：令和 5 年 12 月 17 日（日）記念講演会 〒 775-0202 海部郡海陽町四方原字杉谷 73 ☎ 0884-73-4080（海陽町立博物館）

徳島県立文書館

第 66 回企画展「地券と土地台帳-地租改正 150 年-」

明治維新の大改革の一つである地租改正は、今からちょうど 150 年前に行われました。当館に収蔵されている古文書から、徳島県という一地方での地租改正の在り方を紹介します。



地券之証 明治 6 年（1873）

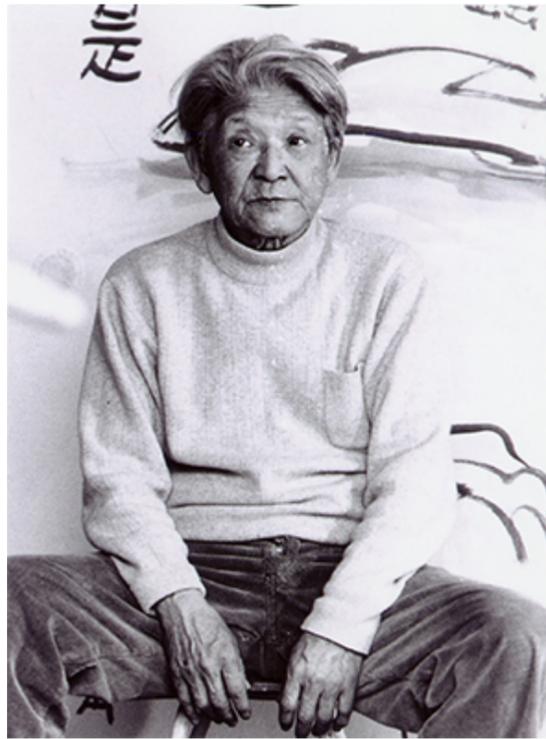
- 会 期：8 月 1 日（火）～10 月 22 日（日）
- 時 間：9：30～17：00
- 会 場：2 階展示室
- 観覧料：無料
- 〒 770-8070 徳島市八万町向寺山 文化の森総合公園 ☎ 088-668-3700（徳島県立文書館）

徳島県立文学書道館

文学特別展 富士正晴と「VIKING」の同人たち

徳島県三好郡山城谷村（現・三好市山城町）出身で、大阪府茨木市で暮らした作家の富士正晴（1913～1987）。従軍体験を元にした「敗走」「徴兵老人列伝」や敗戦後の生活を描いた「競輪」が芥川賞候補、「帝国軍隊に於ける学習・序」が直木賞候補になったほか、評伝「桂春団治」で毎日出版文化賞を受賞するなどの活躍をしました。その一方で、戦後まもなく同人誌「VIKING」を創刊し、島尾敏雄、庄野潤三、久坂葉子、高橋和巳、津本陽、山田稔ら名だたる作家を輩出しました。

本展では、富士とともに切磋琢磨した主な「VIKING」同人や、同誌に発表した作品などを紹介します。



富士正晴（藤本巧撮影）

- 会 期：8 月 11 日（金・祝）～9 月 24 日（日）
- 時 間：9：30～17：00
- 会 場：1 階特別展示室・3 階収蔵展示室
- 観覧料：一般 520 円（410 円） 高校・大学生 360 円（290 円） 小・中学生 260 円（200 円）
- ※（ ）内は 20 名以上の団体料金
- ※ 65 歳以上の方と各障がい者手帳をお持ちの方は半額
- ※ 小・中・高校生は、土・日・祝日と夏休み期間中は無料
- ※ 本展の観覧券で、併催の藤本巧写真展「作家の群像 富士正晴とその時代」も観覧可
- 〒 770-0870 徳島市中前川町 2 丁目 22-1 ☎ 088-625-7485（徳島県立文学書道館）

情報コーナー

平家屋敷民俗資料館

【ごあいさつ】

当館は四季折々の表情を見せてくれる自然豊かな場所にあり、庭には時代を見守り続けた名木もあります。そんな中でゆっくりしたお時間を過ごしていただけますと幸いです。

母屋は慶応 3(1867)年の築造で、内部が民俗資料館になっています。今でも囲炉裏で毎日火を焚いており、150 年以上にわたり守り続けた茅葺合掌造りをご覧ください。

蔵も慶応 3 年の築造です。大歩危・祖谷地方で現存している土蔵はこれだけです。また、蔵のこて絵には兎が跳ねる姿を波に例えた（水をイメージすることによって火事にならないようにとのまじない）絵があります。慶応 3 年が卯年であったことから兎が描かれており、粋な職人の技をご覧ください。

現在、母屋と蔵は三好市重要有形文化財に指定されています。

【当家の由来】

祖先である堀川内記は、安徳帝の御典医として治承～養和～寿永の頃まで宮中に仕えましたが、平家の都落ちの際、安徳帝を供奉して屋島に逃げ延びました。

平家滅亡の後、残党と共に祖谷に入山した内記は、祖谷の山野に薬草が豊富なことに感動し、深山を散策して秘薬を採取しました。こうして、内記は当地で医業を地元の人に施し、神官も兼ねて生涯を送りました。

後年、蜂須賀家政公が阿波に入国した際、当家は反旗を翻した祖谷軍の負傷者の治療に当たりました。結局祖谷軍は敗れ、堀川家も罰せられましたが後に許され、当地西岡の名主（庄屋）となり、姓を西岡に改め現在に至っています。

【紅葉の名所】

祖谷地方は紅葉の名所として知られ、10 月の「祖谷平家まつり月間」になると、大勢の観光客でにぎわいます。皆様のお越しを心よりお待ちしております。



紅葉の平家屋敷

- 〒 778-0105 三好市西祖谷山村東西岡 46 番地 ☎ 0883-84-1408（平家屋敷民俗資料館）

川口ダム自然エネルギーミュージアム

企画展「土からわかる防災のおはなし」

土のことを科学的に知り、土に親しみ、災害に備える知識を身につけるためのパネル展示です。

地球を形作る「土」のでき方や種類、地面の下の生き物や水との関わりを、豊富なイラストで分かりやすく紹介します。

条件や形状によっては土も災害を起こしやすい一面があることの理解を深め、災害の備えについても学ぶことができます。



「地球がうみだす土のはなし」より（西山竜平 2021 年）

- 制 作：名古屋市港防災センター
- 監 修：岐阜大学応用生物科学部 大西健夫准教授 名古屋大学生命農学研究所 田中隆文准教授
- 特別協力：(株)日立ハイテク、国土防災技術(株)
- 協 力：福音館書店、NPO 法人土砂災害防止広報センター、お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター、愛知県砂防課、名古屋市防災危機管理局
- 参考・メインイメージ：「地球がうみだす土のはなし」 大西健夫・龍澤彩 文 西山竜平 絵
- 会 期：9 月 1 日（金）～9 月 30 日（土） ※休館日を除く
- 時 間：9：30～16：30
- 会 場：環境学習室
- 観覧料：無料
- 〒 771-5408 那賀郡那賀町吉野字イヤ谷 72-1 ☎ 0884-62-2209（川口ダム自然エネルギーミュージアム）